



・ ・ ・ No.25 秋号 (2013.10)
・ ・ ・

なかつがわ図書館

特集



郷土の作家

秋の読書週間におすすめ！



ヤマジノホトトギス 山道などに多く生えるのでこの名がある。

中津川野草散策の会のみなさんが
撮影した秋のお花です。
参考資料…『山溪フィールドブックス 秋の野草』
永田芳男 著 (山と溪谷社)



アケボノソウ

花びらの模様を“ほのぼのと明ける
夜明けの星空”に例えている。



保方多津美さん(蛭川)



その⑧「蛭川公民館は
なぜ蛭子座というの？」



付知 読み聞かせサークル
「おひさま」



第2回 なかつがわ
図書館まつりを開催します！

郷土の作家



今年1月、岐阜県出身で男性最年少受賞の直木賞作家が誕生しました。私たちの住んでいる岐阜県からは、魅力的な作家が多く輩出されています。今回は、秋の読書週間におすすめの岐阜県で生まれ育った、最近の作家をご紹介します。

あさい

朝井 リョウ 不破郡垂井町出身

『桐島、部活やめるってよ』

第22回小説すばる新人賞でデビュー

『何者』第148回直木賞受賞

直木賞史上初の平成生まれの受賞者



『何者』（新潮社刊）

就職活動いわゆる「就活」中の大学生たちが、ツイッターでのつぶやきを介して自分の中に潜む何者かを呼び覚ましていく姿をリアルに描いた作品。

いけい ど じゅん

池井戸 潤 加茂郡八百津町出身

『果つる底なき』第44回江戸川乱歩賞で作家デビュー

『鉄の骨』第31回吉川英治文学賞新人賞受賞

『下町ロケット』第145回直木賞受賞



『下町ロケット』（小学館）

下町の小さな工場が数々の危機を乗り越えて大企業を相手に互角に戦っていく希望の物語。

おくだ ひでお

奥田 英朗 岐阜市出身

『空中ブランコ』第131回直木賞受賞

『サウスバウンド』第3回本屋大賞第2位

『オリンピックの身代金』

第43回吉川英治文学賞受賞



『オリンピックの身代金』（角川書店）

東京オリンピックの妨害を企むテロリストVS警視庁。読みごたえたっぷりの息もつかせぬサスペンス。

ほりえ としゆき

堀江 敏幸 多治見市出身

『おばらばん』第12回三島由紀夫賞受賞

『熊の敷石』第124回芥川龍之介賞受賞

『雪沼とその周辺』第40回谷崎潤一郎賞受賞

…その他多数受賞



『雪沼とその周辺』（新潮社）

山あいの静かな町で暮らす人々を描く短編集。読んでいる時間までもが、ゆっくりと流れる小説。

その他の岐阜県出身の作家と作品一覧（一部抜粋）

いわい みよじ

岩井 三四二 『月ノ浦惣庄公事置書』＊第10回松本清張賞

うぶかた とう

沖方 丁 『天地明察』＊第7回本屋大賞

すずき きいちろう

鈴木 輝一郎 『新宿職安前託老所』（収録作「めんどろみてあげるね」）＊第47回日本推理作家協会賞

たくみ つかさ

拓未 司 『禁断のパンダ』＊第6回「このミステリーがすごい！」大賞

なかむら こう

中村 航 『リレキシヨ』＊第39回文藝賞

なかやま さき

中山 咲 『ヘンリエッタ』＊第43回文藝賞

なかやま しちり

中山 七里 『さよならドビュッシー』＊第8回「このミステリーがすごい！」大賞

よねざわ ほのぶ

米澤 穂信 『折れた竜骨』＊第64回日本推理作家協会賞

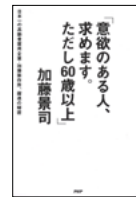
・・・など

中津川市に 関わる話題の本



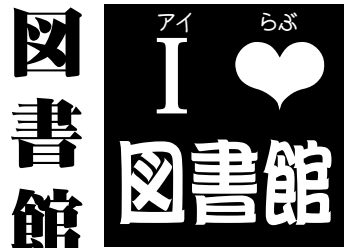
『戦場からの恋文』
中日新聞社出版部 || 編
(中日新聞社)

戦争へ赴いた夫からの手紙…。それは日本に残した妻への、思いやりにあふれる恋文だった。中津川市出身の青山泉さんからの書簡 56 通と、妻フユさんの日記を抄録した本。



『「意欲のある人、求めます。ただし 60 歳以上」』
加藤景司 || 著
(PHP 研究所)

高齢者雇用のスペシャリストとして名をはせる中津川市の企業「加藤製作所」の 4 代目社長がその秘訣を伝授した本。人間にとって「生きること」と「働くこと」は切り離せない大事なものであることがわかる。



「アイラブ図書館」は、図書館や読書活動に関するたくさんの「愛」をペンリレーで掲載しています。

↓
小栗輝之さん



行政書士
保方多津美【蛭川】

↓
次はあなた…？

図書館のここが好き！

社会に出て以来、図書館から足が遠のいていた期間が十数年ありました。その間は、古本屋さんで本を買って、さって読書欲を満たしていました。

せん。また、無料で貸していただけるため、普段読まない分野の本でも気軽に手に取ることができ、興味の範囲をひろげることができました。

こどもが生まれ、絵本の読み聞かせが開催されると聞いたことをきっかけに、図書館に再び通うようになった今、やっぱり図書館はいいなあ、と改めて思います。図書館で本を借りれば、読み終わった本は返却できるので、保管場所の心配がありません。

さらに、読みたい本の題名や著者名などがわかっているときは、検索をしたり司書の方に教えていただくことで、簡単にお目当ての本を探し出すことも。

休日には図書館でのんびり過ごしたいものです。

ふしぎ その⑧『蛭川公民館はなぜ蛭子座というの？』



調査隊員
蛭川公民館長さん



農村の娯楽行事としての芝居、その大きな舞台として、村人の熱意で明治三十四年に完成したのが蛭子座です。この新築した舞台の名称がどうして「蛭子座」とつけられたかはわかっていませんが、蛭川村の「蛭」と、蛭子という縁起の良い言葉から生まれたであろうと想像されます。芝居だけでなく、諸会合にも利用する意図もあって上棟式の棟札には「倶楽部」と書いてありました。倶楽部とは今の公民館の前名ですが、元来が芝居本位の舞台だから一般には蛭子座と呼びならされました。

戦後、公民館という名前が生まれ、蛭川にも、明治に誕生した「蛭子座」の伝統を受

蛭川公民館の移り変わり



平成 21 年 2 月
蛭川公民館 改修



昭和 24 年 再建



明治 34 年
創建の蛭子座

蛭川公民館長さん、ありがとうございました。蛭川公民館でも近くにある済美図書館でも色々なイベントがありますよ！

け継いだ、劇場型の公民館ができがりました。このことから蛭川公民館を蛭子座ともいいます。
参考資料：『蛭川村史』
(蛭川村史編さん委員会)



次回のふしぎは……
「遠山の金さんは苗木藩の遠山家と関係あるの？」
250 文字程度で調査結果をどんどんご投稿ください！



おひさまのみなさん。左から若山さん、早川さん、青木さん、吉村さん。和気あいあいと活動中！

私たちは、平成23年12月から活動を始めた新しいサークルです。20代から60代の女性を中心に10～15名で活動しています。

「本が好き」「本の楽しさを伝えたい」という思いを持った人が集まっています。読み聞かせの他にイベントの企画、付知公民館図書室内のディスプレイまで幅広く行なっています。

おひさま

付知読み聞かせサークル

てく介
通サ紹
るをを
館すを
活動し
します。



今回は、付知公民館を中心に活動している読み聞かせサークルさんです。

メンバー募集中です！
お問合せは、付知公民館図書室
担当 小南（☎82-3023）まで



付知図書館まつりの様子。子どもたちも夢中になって、おはなしの世界に引き込まれていきます。

付知図書館まつりは、8月8日と9日に開催されました。エプロンシアター、人形劇、絵本の読み聞かせの他、付知のゆるキャラ「なあちゃん」をさがそう！など、多くの子どもたちが参加してくれました。

現在、付知公民館図書室で、毎月第2・第4木曜日の午前中にお話し会を開催しています。この他に、付知保育園で毎月、付知南小学校で年2回の読み聞かせを行なっています。その他、付知近辺の学校などへも訪問する予定です。



第2回 なかつがわ



編集委員より

今年こそ、読書の秋!! (N)
今年も食欲の秋、決定! (M)
芸術の秋♪ 美術館に行こうかな。 (A)
読書の秋の参考になったかな (N)
おたより大募集中! お気軽に図書館まで (M)
お気軽にお近くの図書館・公民館図書室へ。 (O)

図書館まつりを開催します!

11月10日(日) 10:00-15:30

中津川市立図書館、中央公民館にて

○イベント内容○

- *ブックコート
- *エコバッグ作り
- *本カツ(古本市)
- *たっぴひとりの詩の朗読会【いちかわあつきさん】
- *おはなし会【読み聞かせサポーターのみなさん】
- *百人一首の実演【百人一首くらぶ】
- *大人のための朗読会【こだま】
- *点字で名刺作り【ともしび会】
- *オープンカフェ(菓匠 Shimizu のお菓子付き)【図書館くらぶ】

図書館まつりプレイベント 11月4日(振替休日) 13:30～
菓匠 Shimizu シェフパティシエ 清水慎一さん講演会
「お菓子創りは夢づくり」 場所：中央公民館ホール